

めざせ!
未来のエンジニア!!

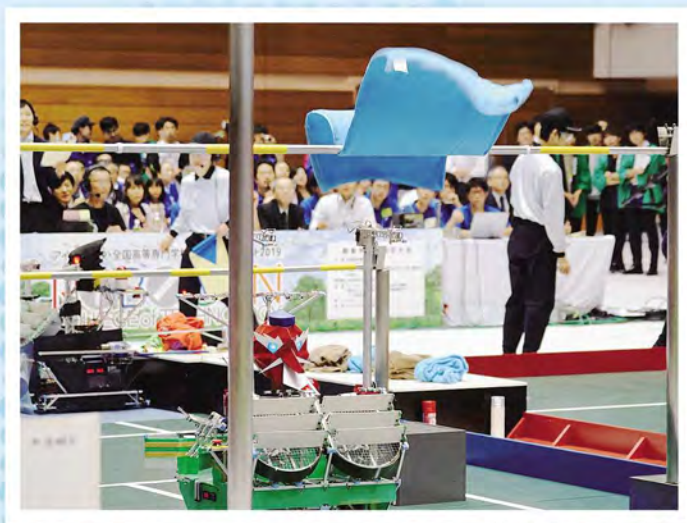
What's

茨城高専?

SCHOOL GUIDE 2021



National Institute of
Technology (KOSEN),
Ibaraki College



茨城高専の特色

National Institute of Technology (KOSEN), Ibaraki College



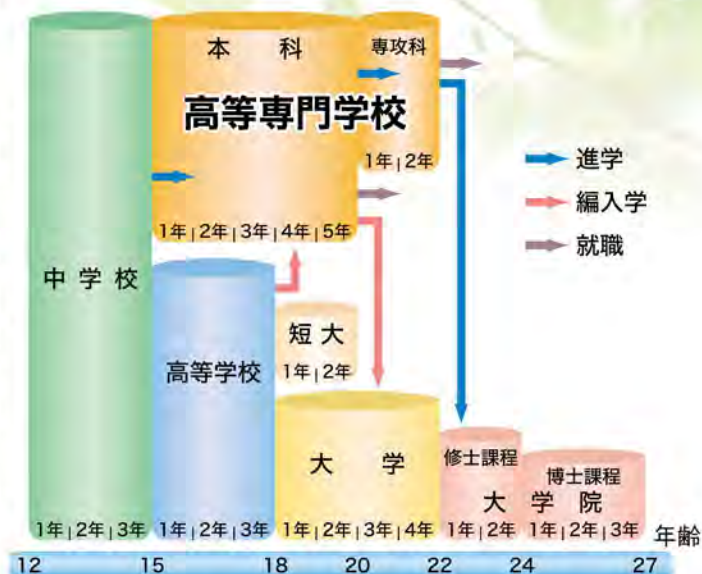
校長 米倉 達広

国立茨城工業高等専門学校は、科学技術者を育成する大学と同様の**高等教育機関**です。中学校卒業生を受け入れて5年間の教育を行う本科は、4つの専門工学分野で構成され、卒業生は**準学士**となります。専攻科は、主として本科卒業生を対象に2年間の教育を行い、修了生は**学士号**を取得できます。

教育内容は、実社会で役立つものを中心に、実験・実習などを重視した実践的なものが多く、その結果、本科・専攻科とともに**求人件数は高水準**を維持し、また、大

学3学年や大学院への**編入・進学率**も高い現状にあります。加えて、地域との密接な連携を重視し、教育面だけでなく、研究面においても、**茨城の地域社会に貢献**できるように、努力しています。本校のこれらの教育・研究活動は、常に外部組織の評価・審査を受けており、より良い教育を目指しています。

さらに、世界で活躍できる**グローバルエンジニア**を育成するために、平成29年度に従来の5学科体制から国際創造工学科の1学科への学科改組を行いました。



高等専門学校の位置づけ

教育理念と育成すべき人材像、学習・教育目標

自律と創造

科学技術の進歩は我々に豊かな社会を提供する一方、社会との関わりをますます深化・多様化させる中で、これまで我々が経験したことのないような新たな課題をもたらしています。このような中で、豊かで持続可能な社会を実現するためには、自律的にこれらの課題に取り組んでこれらを解決すると共に新しい知識を生み出すことのできる創造性あふれる技術者を育成することが本校における教育の根幹と考え「**自律と創造**」を本校の教育理念として掲げています。

本校の目的と教育理念に照らし、国際創造工学科では基礎的知識、課題解決能力、社会的課題に取り組む姿勢と行動力、コミュニケーション能力を有する学生の育成を行います。

教育理念

自律と創造



国際創造工学科の学習・教育目標

- (A) 工学の理念に基づいて、専門工学の基礎知識を修得できる能力
- (B) 専門工学と人文・社会科学の知識・技術を総合的に活用し、自らが立てた課題を解決できる能力
- (C) 国際的な視野に立って他者と協働しながら社会的課題に取り組むことのできる、姿勢と行動力およびコミュニケーション能力

グローバル高専

平成26年6月に、独立行政法人国立高等専門学校機構（高専機構）は**グローバル高専モデル校**として、全国51校の高専の中から茨城高専と明石高専の2校を指定しました。これまでに茨城高専は、国際的に活躍できるエンジニアを育成するために、英語による授業、英語による研究発表、海外インターンシップ等を推進してきました。また、英文図書 の拡充や、各科目の Technical Term 集の整備、英語版時間割の掲示や校内案内板等の英語表記等、キャンパス環境のグローバル化にも力を入れてきました。**茨城高専は、こうした取組をより一層強化し、グローバル高専として、高専のグローバル教育を牽引していきます。**

卒業生・修了生の進路

令和元年度本科卒業生 就職求人件数総数3197件 大学・専攻科への進学81名

▼令和元年度卒業生の就職・大学編入学等の状況（令和元年度卒業生は国際創造工学科への統合前、5学科体制時の入学者。）

学 科	卒業者数	就職者数	進学者数	各種学校	その他	求職者数	求人件数
機械システム工学科	37 (1)[1]	28 (1)	7 [1]	1	1	29	709
電子制御工学科	37 (3)	19 (3)	18	0	0	19	665
電気電子システム工学科	34 (3)[2]	13 (1)	17 (2)[1]	0	4 [1]	13	713
電子情報工学科	34 (7)	17 (5)	15 (2)	0	2	17	618
物質工学科	36(17)[1]	11 (8)	24 (9)[1]	1	0	11	492
合 計	178(31)[4]	88(18)	81(13)[3]	2	7 [1]	89	3197

(注) () は女子学生で内数。[] は留学生で内数。「その他」の欄は左記以外の者。

■就職 令和元年度卒業生の求職者 89 人に対する求人件数総数は 3197 件でした。このような高求人件数の下、ほとんどの学生は希望する企業に入社できました。高専卒業者は大学卒業者と同等の活躍が期待されています。

平成27年～令和元年度の主な就職先

旭化成 出光興産 NTT-ME NTT 東日本 オートリブ オリエンタルモーター キャノン キャノンメディカルシステムズ 極東製薬工業 クレハ コマツ/小松製作所	サントリー JR 東日本/東日本旅客鉄道 JSD JX 金属 JXTG エネルギー JAL エンジニアリング SUBARU テクノ スタンレー電気 SAY コンピューター 大陽日酸東関東 電源開発	東亜石油 東京ガス 東京電力 ニコン 日産オートモーティブテクノロジー 日本原子力研究開発機構 日本精工 日本たばこ産業/JT 日立建機日本 日立交通テクノロジー 日立産業制御ソリューションズ	日立製作所 日立パワーソリューションズ 日立水戸エンジニアリング ファナック フルヤ金属 本田技研工業 三菱電機ビルテクノサービス 森永乳業 雪印メグミルク LIXIL 地方公務員
---	--	--	--

(50音順)

■大学・専攻科への進学 高専卒業後、さらに高度な勉学のために進学を望む場合は、国公立や私立の大学の3年次に編入学できます。高校からの大学受験と違い「大学入試センター試験」を受ける必要はありません。また、編入学試験は大学ごとに試験日が異なり、複数の大学の受験が可能です。茨城高専では、希望学生のほぼ全員が編入学しており、そのほとんどは国立大学です。進学先には、大学の他に、「専攻科」と呼ばれる大学卒と同じ「学士号」が取得できる2年間のコースもあります。令和元年度では178名のうち81名が大学や専攻科に進学しました。

大学等名	北海道大学	北海道教育大学	室蘭工業大学	弘前大学	東北大学	秋田大学	福島大学	茨城大学	筑波大学	宇都宮大学	群馬大学	埼玉大学	千葉大学	お茶の水女子大学	電気通信大学	東京大学	東京工業大学	東京海洋大学	横浜国立大学	新潟大学	長岡技術科学大学	山梨大学	信州大学	富山大学	金沢大学	福井大学	静岡大学	名古屋工業大学	豊橋技術科学大学	京都工芸繊維大学	大阪大学	奈良女子大学	岡山大学	香川大学	広島大学	九州大学	九州工業大学	佐賀大学	鹿児島大学	琉球大学	公立大学合計	私立大学合計	岐阜高専専攻科	豊田高専専攻科	茨城高専専攻科	合計	
R01	1	1	2		5	3	1		1	1	1	5		2	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8			1		1					2	3			26	81				
H30				1	1	1	9	2	2	1		2	2	1	4		4	16						1				10			1	2	2	1				1	4	1		28	97				
H29	1			1	1	1	1	1	1	1	1	4	2	1	2	6			24		2			1	2			4	1	1	1	1	1	1	2	1	1		7	1		22	104				
H28	1	1	1	3		9	2	1	1	7	1	1	3	7	1	2	1	19						1	3			8	1		1	2				1	1	2	5		36	121					
H27	1	1	2		1	5	4	1	5	2	3	1	1	8		2	1	1	1	1	3			2	1	1	1	7	1							1	2	4		29	111						
合計	4	1	2	1	9	1	2	4	13	9	3	1	19	2	9	3	7	30	1	2	9	82	2	6	1	6	7	1	1	37	2	1	2	4	1	5	3	2	1	1	5	5	23	1	1	141	514

(現役のみ)

令和元年度専攻科修了生 就職求人件数総数1960件 大学院への進学10名

▼令和元年度修了生の就職・大学院進学状況

コース	修了者数	就職者数	進学者数	その他	求職者数	求人件数
機械工学コース	0	0	0	0	0	544
電気電子工学コース	11(1)	5	5(1)	1	5	550
情報工学コース	8	4	3	1	5	487
応用化学コース	3(2)	1(1)	2(1)	0	1	379
合 計	22(3)	10(1)	10(2)	2	11	1960

(注) () は女子学生で内数。「その他」の欄は左記以外の者。

■就職 令和元年度修了生の求職者 11 人に対する求人件数総数は 1960 件でした。

平成27年～令和元年度の主な就職先

NTT データアイ パナソニック 日立パワーソリューションズ	清水化学工業 日立製作所インフラシステム社 富士ゼロックス	日東電工 日本貨物鉄道
--------------------------------------	-------------------------------------	----------------

(50音順)

■大学院への進学 令和元年度は修了生 22 名のうち 10 名が進学しました。

大学院名	北海道大学院	山形大学院	茨城大学院	筑波大学院	総合研究大学院大学	千葉大学院	長岡技術科学大学院	東京大学大学院	東京工業大学院	東京農工大学院	首都大学東京大学院	早稲田大学院	名古屋大学院	大阪大学院	奈良先端科学技術大学院	北陸先端科学技術大学院	山口大学院	九州大学院	クイーンズランド工科大学	合計	
R01	1	1	2								1	2			1		1			1	10
H30			1	8			1	1								4					15
H29	2	1	6	1	1			1					1	2				1			16
H28	1		1	1	3	1	1	1	1	1	1										10
H27	1		7				1							2							11
合計	4	2	2	24	1	2	1	4	3	1	1	3	1	3	3	4	1	1	1	1	62

(現役のみ)

国際創造工学科

平成29年度から国際創造工学科の1学科に統合しました！

◆ なぜ、新しい教育体制にしたのか？

近年、グローバル化が進んでいる世界のなかで、激化する国際競争に勝ち残れるエンジニアや、資源、エネルギーや環境などの数多くの地球規模の問題に他国のエンジニアと協働して取り組むことのできるエンジニアの育成が急務となっています。

このように世界を舞台に活躍できるグローバル・エンジニアには、専門的に深い知識と高度な技術力などのエンジニアとしての能力だけでなく、語学力、他国の文化や価値観を理解して他国の人々と関係を構築できるコミュニケーション能力、新しい価値観を生み出すことのできる創造力などが求められます。

茨城高専は、世界で活躍し、世界に貢献できるグローバル・エンジニアを育成するために教育体制を新たにして、これまでの専門教育と共に、グローバル化への対応に力を入れた教育を行っています。

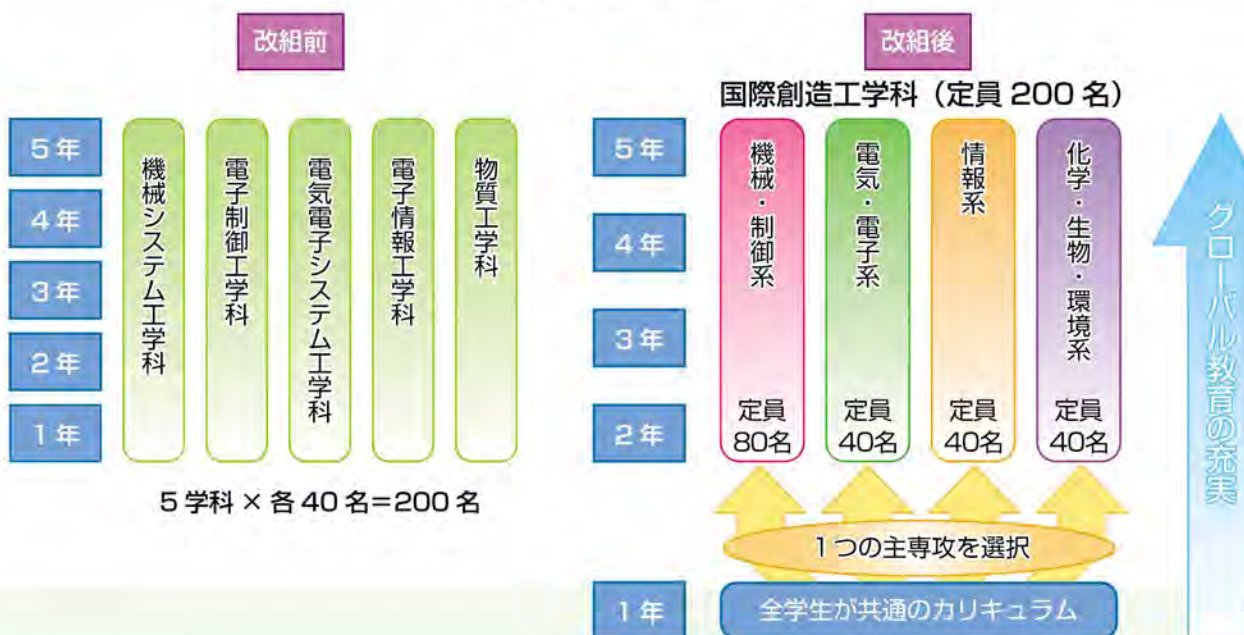
進化した茨城高専！

5つの学科を国際創造工学科の1学科へ統合し、グローバル化への対応に力を入れた教育を行い、複数の分野を幅広く学ぶことで、世界で活躍できるグローバル・エンジニアを育成しています。

◆ 国際創造工学科が行うグローバル・エンジニア育成

- (1) これまで茨城高専で行ってきたグローバル化への対応に力を入れた教育をさらに発展させています。確かな専門力と共に異文化理解を深め、多様な視点で、世界中のエンジニアと協力できるコミュニケーション能力を育てています。さらに情報発信力を磨き、地球規模の課題に世界中のエンジニアと協力して取り組み、世界に貢献できるグローバル・エンジニアを育成しています。
- (2) これまで本校が行ってきた専門教育（機械・制御工学、電気・電子工学、情報工学、物質工学）を深化させて、地域や社会の要請に応えることができる、創造力のあるエンジニアを育成しています。
- (3) 複数の分野を学ぶための融合・複合型教育を発展させて、卒業後も常に新しい分野に挑戦できる素養をもったエンジニアを育成しています。

学科再編のイメージ



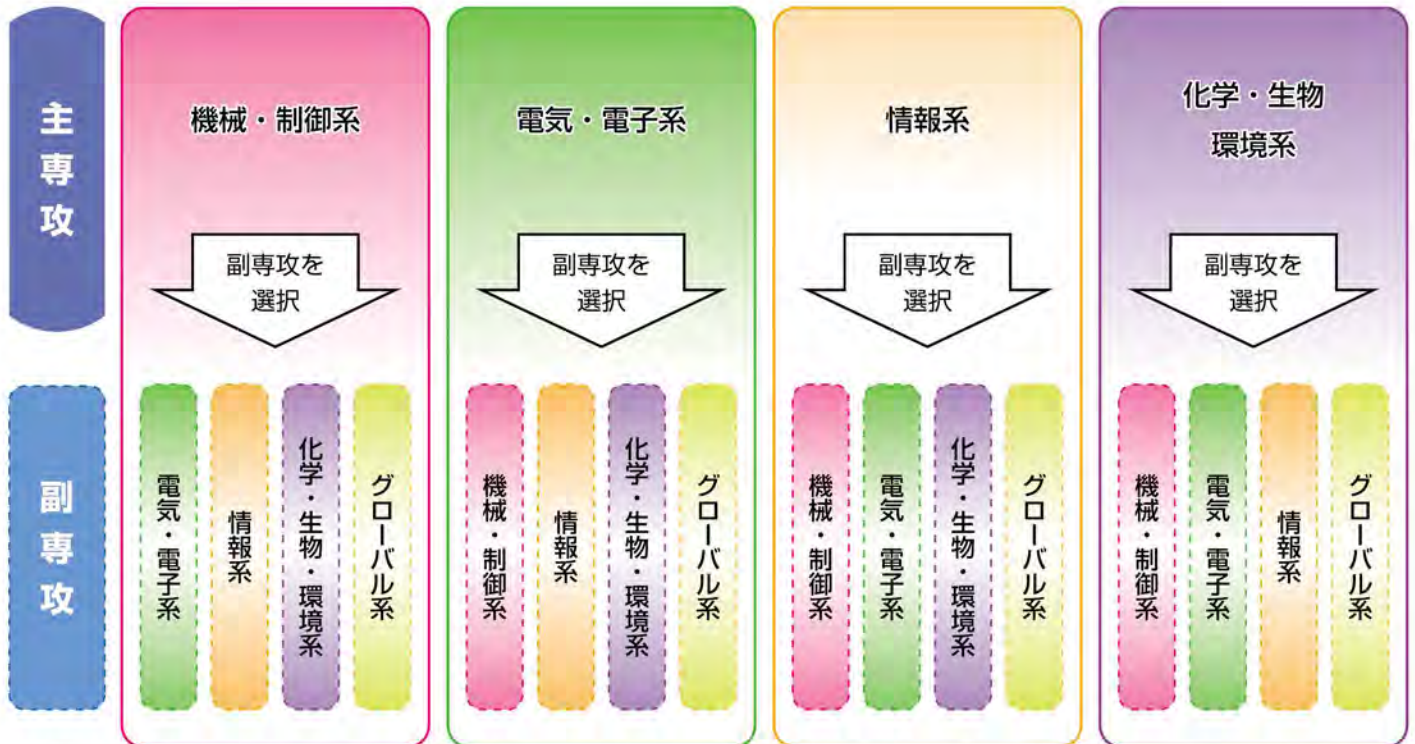
◆ 入試制度

- 推薦選抜と学力選抜の2種類の選抜方法があります。
- 受験の出願時に主専攻を志望しない**通常学力入試制度**、出願時に学びたい主専攻を志望し、第2学年進級時に志望した系へ優先的に配属される**特例適用制度**、そして**特例適用制度と通常学力入試制度の併願**の、3種類の出願方法があります。
- 詳しくは「令和3年度入学者募集要項」をご覧ください。

◆ 2年進級時に専攻を決定

- 「**主専攻**」で専門分野の理解を深めるだけでなく、「**副専攻**」で他分野についても学びます。
- 1年生で共通の専門科目を学んでから、2年進級時に**自分が学びたい専門分野**の主専攻と副専攻を決定します。

主専攻と副専攻



グローバル系では基礎を英語で学べる科目を設置するとともに、国内外の大学に在籍する外国籍学生と一緒に課題解決に向けた方策を討議するなどの体験学習なども行います。

2年生への進級時に主専攻・副専攻をそれぞれ選択

入学後の大まかな流れ

1年生

共通の授業

- 【一般科目】国語、英語、数学、物理、化学など、基本的な教養を身につけます。
- 【専門科目】国際創造工学基礎（主専攻に関する基本的内容）、情報リテラシーについて学びます。

専攻決定

2年生

- 進級時に、1つの主専攻を決定します。1年次の成績を考慮して配属します。
機械・制御系（80名） 電気・電子系、情報系、化学・生物・環境系（各40名）
- 機械・制御系、電気・電子系、情報系、化学・生物・環境系、グローバル系の中から、副専攻を1つ決定します。ただし、主専攻と同じ系の副専攻は選べません。



次世代の基盤技術を担うオールラウンドエンジニア

世界で活躍できるものづくりエンジニア

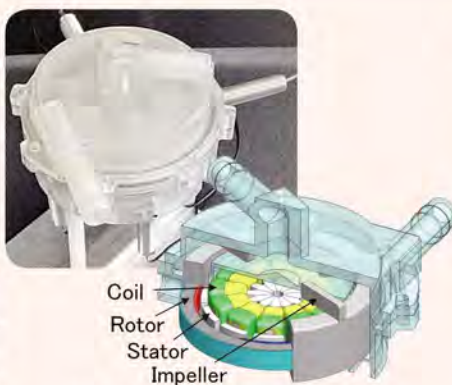
自動車やロボットなどの機械には、情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）といった他工学分野の知能化・システム化された革新的な技術が不可欠で、その重要性は今後ますます大きくなります。本系では機械、電気電子、コンピュータ分野を整理・統合し、社会のニーズに対応する機械系、制御系の発展的な科目群を構成しています。また、第4学年以降は学生の進路に応じて、機械コースと制御コースのコース選択制を導入しています。さらに、共通科目や副専攻体制で、次世代のメカトロニクスや知能システムの開発から生産に係わる幅広い分野を担える人材の育成を目的としています。

創造性豊かな技術を育む実験・実習や卒業研究

今、求められている工業製品はソフトウェア、コンピュータ、エレクトロニクスなどを利用した知能化・システム化された革新的なものです。そのために、(1) 工業力学をベースに材料、熱、流体などの分析に重点を置いた機械基礎分野、(2) 情報、電気・電子などコンピュータに重点を置いた情報応用分野、(3) 設計・加工、計測・制御システムなど、設計から生産に重点を置く統合分野、さらに、実習・実験、卒業研究を通して実践的な工学体系を習得します。これらによって、確かな知識と技術を身に付け、高付加価値のある製品づくりを担う人材を輩出できるように教育課程を整えています。



研究：GPS 搭載ドローン



研究：磁気浮上型補助人工心臓



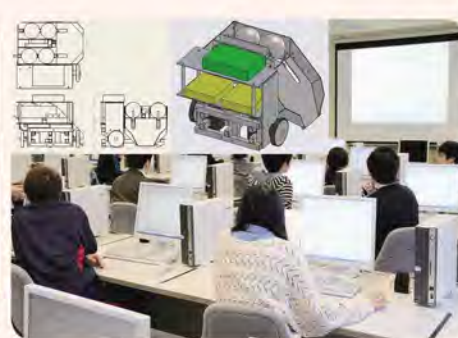
研究：生体信号インタフェース



研究：磁性体の特性評価



実験：マイコンロボットのプログラム制御



授業：CAD による設計製図



最先端の技術を学んで未来を創るエンジニアになろう！

電気・電子工学を支える最先端の技術を学ぶ

電気・電子系では、

- ◆電気自動車などに利用されている
パワーエレクトロニクス、制御技術
- ◆スマートフォンに利用されている
エレクトロニクス、情報・通信技術
- ◆太陽光発電などの再生可能エネルギー
などを幅広く効率的に学ぶことができます。

電気・電子系での学生実験や卒業研究

■2年生から5年生まで幅広いテーマを講義はもちろん、実験して学んでいきます。

2年生

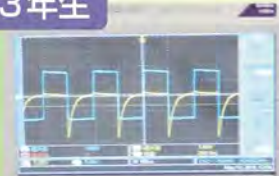


ライン上を進むロボット



↑この画面上で、ロボットが黒いラインの上を進むようにプログラムします。

3年生



オシロスコープで波形を観測します。

グループで相談しながら配線中



4年生



大きな装置を使った実験も

役割分担してデータを取得します。



時には、心配顔の先生が背後に！

自分たちでつくった電気自動車で

レースに参加！



5年間の集大成「卒業研究」

卒業研究では、学生は研究室に分かれて、1年間1つのテーマに取り組みます。太陽光パネルの研究をする研究室もあり、担当の先生毎にテーマが異なります。

太陽光パネル



国家資格取得への道がひらかれます

難関と言われる2つの国家資格を、指定された科目を修得して卒業すると、申請のみで取得できます。

- ①第二種第三種電気主任技術者（経済産業省）
- ②第二級陸上特殊無線技士、
第二級海上特殊無線技士（総務省）



⇒詳しくは
茨城高専 電気・電子系 HP へ
http://www.ibaraki-ct.ac.jp/?page_id=8555





情報の力でアナタと社会の夢を実現しましょう！

情報系で学ぶこと

コンピュータやインターネットはもはや私たちの生活に欠かせない存在です。特に、SNS やインターネットショッピングなどは、多くの人にとって日常生活を送る上での基本的なツールといえるでしょう。今後更に、このようなインターネットを利用した様々な新サービスを創り出す人材が求められることになるでしょう。

情報系では、このような社会のニーズに応えるために、全ての学年にコンピュータを使ったプログラミングの授業を用意し、低学年で基礎科目の知識を身につけたのち、高学年でより専門性の高い科目を学ぶことで、実践的な応用に関する知識が身につけられます。

プログラミング演習



情報系ではすべての学年でコンピュータを使ってプログラムを作成する授業を行います。

PBL実験



高学年の問題解決型実験では、グループ内でアイデアを出し合って、アプリケーションソフトの開発を行います。

卒業研究



卒業研究では自分で興味を持った研究テーマを見つけて一年間取り組みます。

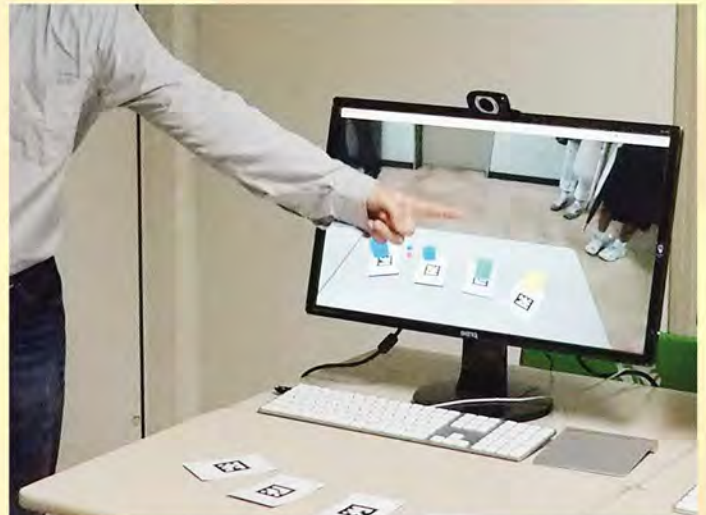
授業以外では

おもしろ科学セミナー



PBL 実験や卒業研究などで学んだ成果を活かした校外向けセミナーを教員と学生で行います。

1 日体験入学



情報系で学ぶ科目内容や研究活動に関する様々な実験・演習の一部を体験できます。



“化学・生物”の技術で人類の幸せや地球環境問題を考えよう。

どんなコース??

化学・生物・環境系は

- 新しい化合物の合成
- 機能性材料や化合物の物性評価
- バイオテクノロジーの技術
- 地球環境を守るための科学技術などを総合的に学ぶコースです。

2年生 白衣で集合



どんな特徴??

○ 無理のない教育プログラム

化学、バイオ、環境に関するさまざまな科学分野を、低学年から無理なく勉強できます。

○ 豊富な実験と充実した研究

多くの化学分野の実験を行い、技術と操作を身に着けます。5年生では卒業研究で締めくくります。

○ 話やすい雰囲気づくり

授業や実験はもちろん、少人数化学ゼミナールやイベントを通じて、学生と教員の交流を深めています。放課後になると、学生が教員室に来ていろいろな話をしています。



分析化学実験



物理化学実験



化学工学実験

どんな研究??

- ・ 遺伝子クローニング
- ・ 生分解性ポリマー材料
- ・ 水処理のため吸着材の評価
- ・ クロスカップリング反応の開発
- ・ 金属酵素をモデル化した錯体化合物の合成
- ・ タンパク質の結晶構造精密化
- ・ バイオディーゼル燃料中のグリセリン測定法
- ・ 機能性光学結晶の育成



キャンパスライフ

- ・入学式
- ・定期健康診断

4

- ・前期中間試験
- ・高校総合体育大会

5

- ・前期期末試験
- ・高校野球大会
- ・地区高専体育大会
- ・全国高校化学グランプリ
- ・英語スピーチコンテスト
- ・3年生研修旅行

6 前期
～8月6日

夏季休業

休み期間
8月7日～9月22日

- ・校内体育大会
- ・高専ロボコン予選
- ・高専プロコン
- ・茨香祭(隔年開催)
- ・読書感想文コンテスト

8

- ・全国高専体育大会
- ・地区文化発表会(8月)
- ・海外語学研修

9

- ・4年生研修旅行
- ・校内バドミントン大会
- ・芸術鑑賞会

11 後期
～3月13日

- ・後期中間試験
- ・高専ロボコン

11

冬季休業

休み期間
12月26日～1月5日

- ・ニューイヤーコンサート
- ・後期期末試験

1

- ・専攻科特別研究発表会
- ・5年生卒業研究発表会
- ・校内卓球大会

2

春季休業

休み期間
3月14日～4月初旬

- ・卒業式
- ・修了式

3



入学式(4月)



地区文化発表会(8月)



校内体育大会(10月)



研修旅行(11月)



卒業研究発表会(2月)



卒業式・修了式(3月)

部 活 動



運動部

関東信越地区高専体育大会、全国高専体育大会、高校体育連盟の各種大会、高校野球連盟の大会などに出場しています。

- | | |
|---------|-------------|
| 弓道部 | バスケットボール部 |
| 剣道部 | バドミントン部 |
| 硬式野球部 | バレーボール部 |
| サッカー部 | 陸上競技部 |
| 柔道部 | ワンダーフォーゲル部 |
| ソフトテニス部 | 水泳部 |
| 卓球部 | 女子バレーボール同好会 |
| テニス部 | フットサル同好会 |



全国の高専生が参加する「全国高等専門学校体育大会」において、令和元年度も茨城高専は優秀な成績を残しました。

- | | | |
|----------|-----------|-----|
| ・テニス部 | 男子ダブルス | 優勝 |
| ・卓球部 | 男子団体 | 第3位 |
| ・バレーボール部 | 男子団体 | 第2位 |
| ・水泳部 | 女子100m背泳ぎ | 優勝 |
| | 女子100m平泳ぎ | 第3位 |

文化部

関東信越地区高専文化発表会、茨城県高校文化連盟の芸術祭、茨香祭、独自の展覧会などで出場しています。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 絵画部 | 将棋部 |
| 茶道部 | 文芸部 |
| 自動車部 | 学生ベンチャー研究同好会 |
| 写真部 | CAD研究同好会 |
| 書道部 | 数学研究同好会 |
| 吹奏楽部 | 漫画研究同好会 |
| 天文部 | ジャグリング同好会 |
| ボランティア部 | 軽音楽同好会 |
| ラジオ部 | DTM同好会 |
| ロボット部 | 模型研究同好会 |
| World Wide Web部 | ダンス同好会 |



学 生 会

学生会は、クラス、部・同好会などの学生活動をサポートしています！他にも、レクリエーション大会やボランティア活動、茨香祭（文化祭）などたくさんのイベントを企画しています！



ボランティア活動



レクリエーション



高専コンテスト - ロボコン・プログラコン -

全国高専ロボットコンテスト



昨年度地区大会の様様

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテストは、全国の高専学生が、毎年異なる競技課題に対し、アイデアを駆使してロボットを製作し、競技を通じてその成果を競うもので、発想力と独創力を合言葉に毎年開催されるものです。例年では、4月末にその年のルールが発表され、秋に10校20チームが集う関東甲信越地区大会が開催さ

れ、さらにこの地区大会を勝ち抜けば国技館での全国大会に出場することができます。茨城高専ではロボット部から2チームが参戦、全国大会を目指し日々、ロボットの完成に邁進しています。

全国高専プログラミングコンテスト



平成30年度大会の様様

プログラミングコンテストとは、全国の高専生がプログラミングの腕を競う大会で、課題、競技、自由の3部門があります。今年の課題部門は「楽しく学び合える！」をテーマとしたコンピュータソフトウェアを制作・発表します。自由部門にはテーマはなく、自由な発想で考えられたコンピュータソフトウェアの作品を開発・発表します。今年の競技部門は中止となりましたが、学校対抗形式で陣取りゲームやパズルが出題され、チーム戦略とメンバー間の連携が勝

利のカギとなります。

みなさんならどんなアイデアで解きますか？ぜひ挑戦してください！

他にもコンテスト・大会は盛りだくさん！

高専生の活躍の場は理系分野ではありません！文化系分野でも大活躍です！

毎年、多岐に渡る様々な大会やコンテストが開催されており、たくさんの学生がチャレンジしています。

- ・茨城県学生ビジネスプランコンテスト
- ・全国高校化学グランプリ
- ・全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
- ・全国高専デザインコンペティション
- ・全日本学生・ジュニア短歌大会
- ・全日本高校・大学生書道展
- ・高円宮杯日本武道館書写書道大展示会
- ・知能ロボットコンテスト
- ・電気自動車エコラン競技大会
- ・日本数学オリンピック
- ・パテントコンテスト（特許出願）
- ・HONDA エコマイレージチャレンジ全国大会など

Web×IoTメイカーズチャレンジ2019-2020 in 茨城
最優秀賞





国際交流の紹介



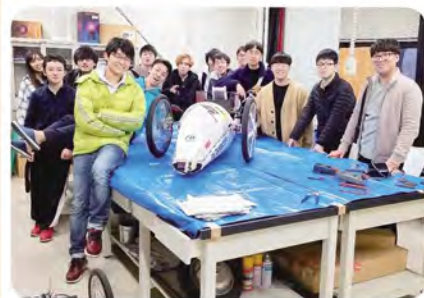
カナダ語学研修

英語力と国際感覚を養うために、ホームステイをしながら英語学校に通う研修を行っています。



ガジャマダ大職業訓練大学生とのPBL

海外協定校の学生が短期滞在し、本校学生との協働プログラムを行っています。



朝鮮理工大学生とのEV制作



専攻科生フランス研修

ルーアン応用科学大学、朝鮮理工大学と学術協定を結び、日本文化の紹介、学術の交流インターンシップなどを行っています。



朝鮮理工大でのインターンシップ



グアナファト大学生との交流会



国際交流クラブ日帰り遠足



新留学生歓迎懇談会



留学生卒業旅行

現在、マレーシア、モンゴル、タイ、カンボジアからの留学生 16 名が学んでいます。



自律と出会いの寮生活

<http://www.ibaraki-ct.ac.jp/dom/>

学生寮（有朋寮）は、学校の指導のもとに1年生から3年生までの学生が、共同生活の体験を通して豊かな人間性を養うとともに、自己の人間形成を図るために設けられた施設です。学校の敷地内にあることから時間的なゆとりもでき、恵まれた居住環境の中で勉強・部活動に打ち込むことができます。また、寮には寮母さん、寮監さんがいますので、良き相談相手になってくれます。



紫峰館(女子：定員23名)



北友館(女子：定員32名)

西友館(男子：定員100名)
※写真奥

新友館(男子：定員54名)
※写真手前

女子寮 紫峰館と北友館のどちらもすべて個室です。紫峰館には1年生、留学生、各階に指導寮生（4年生）がいます。

男子寮 新友館には1年生が主に生活しており、平成27年度に改修して快適になりました。各階には指導寮生（4年生）がいて、寮生活や学校生活などのアドバイスを受けることができます。西友館はすべて個室で2年生以上になると利用することができます。



部屋の設備

各部屋には、勉強机、椅子、ベッド、本棚、ロッカー、エアコン、カーテン、コンセント、TV端子、インターネット端子が備え付けられています。布団はレンタルが可能です。

防犯対策



全棟の入口はオートロック式で、女子寮2棟には防犯センサーを取り付けています。毎日教員等が宿直しており、点呼を行って寮生の安全確保に努めています。



食事

1日3回の食事を摂れます。栄養士さんが献立を考えてくれますので栄養管理は安心です。月1回、特別食(行事食や世界の料理等)があります。栄養バランスの良い食事です。



紫峰館の部屋



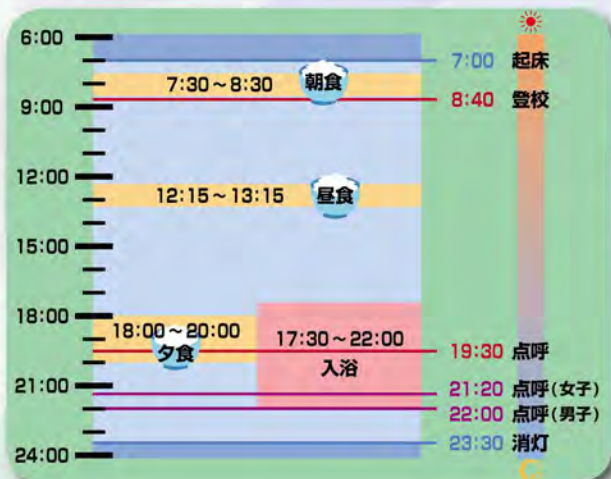
西友館の部屋



寮祭の様子



朝食の様子



主な日程



主な行事

ゆたかな学生生活のために

● 図書館



広々とした閲覧室
(静かな環境で学習できます)

図書館には和書・洋書あわせて約9万冊の蔵書があり、開架式となっています。コンピュータを用いた図書データベース・電子ジャーナルの検索も可能で、学生・教職員の学習や、調査・研究の支援も行っています。理工系専門図書のほか、文学・哲学などの書籍も多数所蔵しています。



雑誌コーナー
(図書の他にも多数の雑誌が揃えてあります)



● 茨友会館



1階の売店で買い物、お菓子もあります



2階の保健室で健康管理



1階の食堂で楽しく食事

茨友会館は、学生および教職員の福利厚生と学生の課外活動の育成を目的とした施設です。建物1階には食堂と売店、2階に保健室、学生相談室および課外活動室があります。

2階の保健室では看護師(常勤)が病気、怪我に対応してくれます。学生相談室では、専門のカウンセラー(非常勤)が学生相談に気軽に応じてくれます。

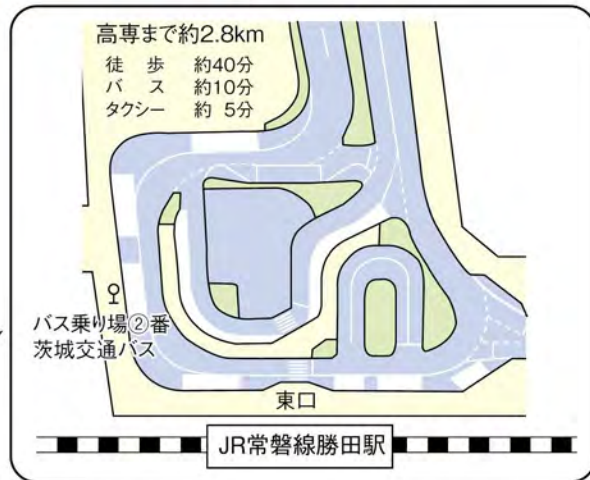
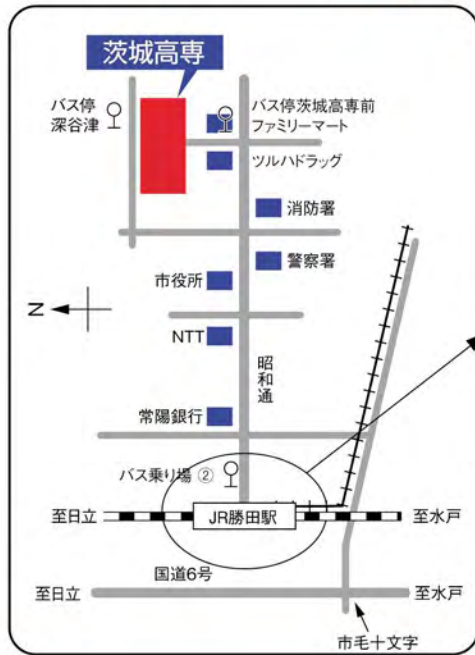
● よくある質問

- Q.1 中学校卒業の段階で進路を工学系に決めてしまうのが不安なのですが。
- Q.2 高等専門学校(高専)は専門学校や高等専修学校とどう違うのですか。
- Q.3 入学者選抜について教えてください。
- Q.4 高専と県立高校に同時出願できますか。
- Q.5 高専の入学試験はどのような問題が出題されるのですか。
- Q.6 入学試験の出願状況や合格者情報をすぐに知りたいのですが、どのようにすればよいですか。
- Q.7 就学支援金制度は対象になりますか。
- Q.8 学費や寮費はどのくらいですか。

- Q.9 高専のことをいろいろ知りたいのですが。
- Q.10 女子学生が少ないのではと心配なのですが。
- Q.11 第4学年編入学について教えてください。
- Q.12 学校見学や進路相談をしたいのですが。

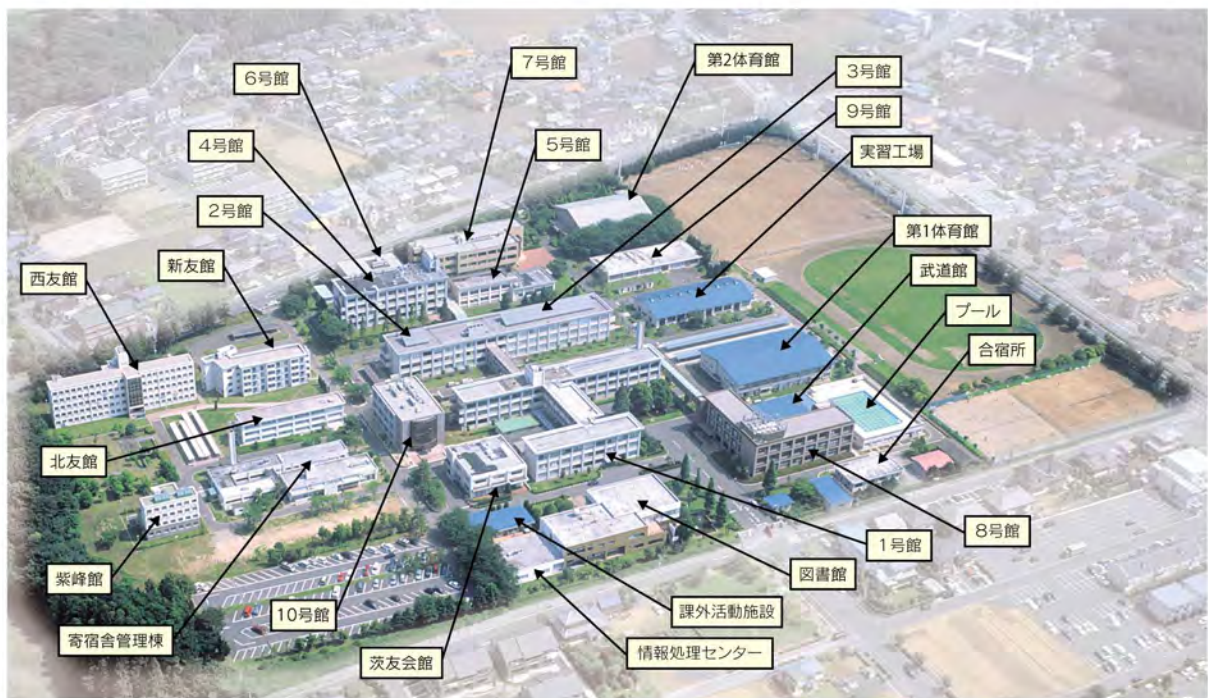
答えはホームページをご覧ください
<http://www.ibaraki-ct.ac.jp/admission/qa/>

高専への交通手段



茨城交通バス乗り場	行き先	下車バス停
勝田駅前2番	東中根団地行き 中央研修所行き 海浜公園南口行き	茨城高専前 徒歩3分
	足崎団地行き	深谷津 徒歩2分

建物配置図



問い合わせ先

〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根866
 独立行政法人 国立高等専門学校機構
 茨城工業高等専門学校

学生課教務係 TEL 029-271-2829、2852 FAX 029-271-2840
 総務課総務係 TEL 029-272-5201 FAX 029-271-2813

ホームページ <http://www.ibaraki-ct.ac.jp/>



2020年7月発行